



2023年6月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月14日

上場会社名 フィーチャ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4052 URL https://ficha.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 脇 健一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CF0 (氏名) 立花 嵩大 TEL 03-6907-0312
 定時株主総会開催予定日 2023年9月28日 配当支払開始予定日 -
 有価証券報告書提出予定日 2023年9月29日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年6月期の連結業績（2022年7月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期	389	1.8	△23	-	△25	-	△28	-
2022年6月期	382	47.0	25	-	26	-	29	-

(注) 包括利益 2023年6月期 △28百万円 (-%) 2022年6月期 31百万円 (-%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年6月期	△5.15	-	△5.1	△4.3	△5.9
2022年6月期	5.27	5.27	5.4	4.7	6.7

(参考) 持分法投資損益 2023年6月期 -百万円 2022年6月期 -百万円

(注) 2023年6月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年6月期	591	548	92.8	98.86
2022年6月期	599	568	94.8	102.53

(参考) 自己資本 2023年6月期 548百万円 2022年6月期 568百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年6月期	1	△55	△0	416
2022年6月期	16	△4	3	470

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年6月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2023年6月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2024年6月期(予想)	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-

3. 2024年6月期の連結業績予想（2023年7月1日～2024年6月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	580	48.9	22	—	21	—	18	—	3.16

※ 注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2023年6月期	5,555,852株	2022年6月期	5,544,752株
2023年6月期	3,881株	2022年6月期	—株
2023年6月期	5,549,278株	2022年6月期	5,507,613株

（参考）個別業績の概要

1. 2023年6月期の個別業績（2022年7月1日～2023年6月30日）

（1）個別経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期	389	1.8	△24	—	△26	—	△29	—
2022年6月期	382	47.0	26	—	25	—	28	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期	△5.38	—
2022年6月期	5.12	5.12

（注）2023年6月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

（2）個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	
2023年6月期	586	539	539	539	92.0	97.12	
2022年6月期	595	559	559	559	94.0	100.95	

（参考）自己資本 2023年6月期 539百万円 2022年6月期 559百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	5
連結損益計算書	5
連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	7
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	8
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(セグメント情報等)	9
(1株当たり情報)	9
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社グループは、「Make Things Intelligent」をミッションに掲げ、画像認識ソフトウェアの開発を行っております。

当社グループが属する画像認識ソフトウェア業界におきましては、あおり運転や高齢運転者による交通事故が社会課題となる中、自動車向け先進運転支援システム (ADAS)、ドライバー監視システム (DMS) の普及や自動運転技術の実用化に向けて、自動車関連企業各社がこれらの取り組みを強化しております。また、社会的なデジタルトランスフォーメーション (DX) の推進が加速しており、少子高齢化や人口減少といった労働力の課題をAIにより解決する取り組みも様々な分野で多数行われております。

こうした環境の中、当社グループは、量産案件を中心とした新規案件の獲得及びディープラーニングをはじめとした画像認識技術の研究開発を積極的に進め、当社ライセンス製品の量産台数は累計で200万台を突破しました。また、主力事業であるモビリティ事業に加え、スマートインフラ事業、DX (AI-OCR) 事業へとサービス分野を広げ、事業の拡大を図ってまいりました。さらに、2023年6月には、今後、益々発展していくと予想される市場環境の中で成長をより加速させることを目的として、ボッシュ株式会社との資本業務提携を発表いたしました。

以上の結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高389,705千円 (前連結会計年度比1.8%増)、営業損失23,168千円 (前連結会計年度は営業利益25,677千円)、経常損失25,496千円 (前連結会計年度は経常利益26,753千円)、親会社株主に帰属する当期純損失28,591千円 (前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純利益29,023千円) となりました。

売上高の収入形態別の内訳は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)	当連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	前期実績比 増減率
売上高	382,688千円	389,705千円	1.8%
うち、受託開発収入	197,221千円	172,986千円	△12.3%
うち、ライセンス収入	185,466千円	216,718千円	16.9%

受託開発収入に関しては、新規受託開発案件の開発開始が遅延した影響もあり、当連結会計年度は172,986千円 (前連結会計年度比12.3%減) となりました。また、ライセンス収入に関しては、既存のドラレコ案件が堅調に推移していることに加え、新車向け車載カメラ案件の量産台数が増加傾向にあることや、使用権ライセンスの契約もあつた影響により、216,718千円 (同16.9%増) となりました。

なお、当社グループは「画像認識ソフトウェア開発事業」の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は504,366千円 (前連結会計年度末比45,929千円減) となりました。これは主に、売掛金及び契約資産が8,874千円増加したものの、法人税及び消費税の納付並びに敷金の差入により現金及び預金が54,095千円減少したことによるものであります。

また、固定資産は86,986千円 (同37,822千円増) となりました。これは主に、オフィスフロアの増床に伴い有形固定資産が13,025千円増加したこと及び敷金の差入により投資その他の資産が25,265千円増加したことによるものであります。

以上の結果、資産合計は591,353千円 (同8,106千円減) となりました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は42,511千円 (前連結会計年度末比11,544千円増) となりました。これは主に、未払法人税等が3,151千円及び未払消費税等が9,243千円減少したものの、未払金が20,820千円増加したことによるものであります。

以上の結果、負債合計は42,511千円 (同11,544千円増) となりました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は548,841千円 (前連結会計年度末比19,651千円減) となりました。これは主に、譲渡制限付株式の発行に伴い資本金及び資本剰余金がそれぞれ4,684千円増加したものの、親会社株主に帰属する当期純損失の計上により利益剰余金が28,591千円減少したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ54,095千円減少し、416,506千円となりました。なお、当該減少には、現金及び現金同等物に係る為替変動による影響410千円が含まれております。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は1,435千円（前連結会計年度比91.2%減）となりました。これは主に、売上債権の増加8,874千円、未払消費税等の減少9,243千円及び税金等調整前当期純損失の計上25,496千円による資金の減少があったものの、減価償却費の計上6,489千円、未払金の増加20,820千円及び株式報酬費用21,388千円による資金の増加があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は55,918千円（前連結会計年度比1,113.5%増）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出19,047千円及び敷金及び保証金の差入による支出36,870千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は23千円（前連結会計年度は3,606千円の収入）となりました。これは、自己株式の取得による支出23千円によるものであります。

(4) 今後の見通し

近年、生成AIをはじめとした技術の進化はめざましく、AI業界が世界的に盛り上がりを見せる中、当社グループの主たる事業領域であるモビリティ市場におきましては、高齢化に伴う安全運転と事故防止への意識向上に伴い、先進運転支援システム（ADAS）やドライバー監視システム（DMS）への注目が高まっております。また、現在、世界中の自動車メーカーやIT企業が自動運転車の開発を加速させており、今後も当社グループのターゲット市場は持続的に拡大していくものと予測しております。

当社グループとしては、長期的な事業拡大を視野に、ディープラーニングのみならず、生成AI技術の研究開発を一層促進させ、新規案件の獲得及び複数案件の量産実績の積み上げを図ってまいります。また、スマートインフラやDXの分野においても、当社技術の導入メリットが高いことから、これらの事業拡張も並行して進めてまいります。

以上から、2024年6月期の連結業績予想としては、売上高580,229千円（2023年6月期に比べ48.9%増）、営業利益22,241千円（2023年6月期は営業損失23,168千円）、経常利益21,639千円（2023年6月期は経常損失25,496千円）、親会社株主に帰属する当期純利益18,506千円（2023年6月期は親会社株主に帰属する当期純損失28,591千円）を見込んでおります。

売上高の収入形態別の内訳は、以下のとおりであります。

	2023年6月期実績	2024年6月期予想	前期実績比増減率
売上高	389,705千円	580,229千円	48.9%
うち、受託開発収入	172,986千円	349,008千円	101.8%
うち、ライセンス収入	216,718千円	231,221千円	6.7%

受託開発収入に関しては、複数の大型案件の受注が見込まれることから増収を見込んでおります。ライセンス収入に関しても、大手自動車メーカーの新車向け車載カメラ案件の量産が増加傾向であることから、増収を見込んでおります。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき当社グループが判断したものでありますが、今後業績に影響を与える要因等が発生した場合には業績予想の修正を公表する可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループでは、国内の企業間での比較可能性を考慮し、会計基準については日本基準を適用しています。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当連結会計年度 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	470,602	416,506
売掛金及び契約資産	57,860	66,735
仕掛品	60	26
前払費用	21,772	20,264
その他	—	833
流動資産合計	550,296	504,366
固定資産		
有形固定資産		
建物	11,809	26,563
減価償却累計額	△10,087	△11,210
建物(純額)	1,722	15,353
工具、器具及び備品	43,144	47,298
減価償却累計額	△34,020	△38,780
工具、器具及び備品(純額)	9,124	8,518
有形固定資産合計	10,846	23,871
無形固定資産		
ソフトウェア	2,065	1,597
無形固定資産合計	2,065	1,597
投資その他の資産		
敷金及び保証金	17,483	53,243
長期前払費用	13,673	5,666
繰延税金資産	5,095	2,606
投資その他の資産合計	36,251	61,516
固定資産合計	49,163	86,986
資産合計	599,459	591,353
負債の部		
流動負債		
未払金	6,494	27,315
未払法人税等	5,872	2,720
未払消費税等	15,319	6,076
契約負債	—	2,291
その他	3,279	4,106
流動負債合計	30,966	42,511
負債合計	30,966	42,511
純資産の部		
株主資本		
資本金	285,394	290,078
資本剰余金	269,084	273,768
利益剰余金	10,865	△17,726
自己株式	—	△23
株主資本合計	565,344	546,097
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	3,149	2,744
その他の包括利益累計額合計	3,149	2,744
純資産合計	568,493	548,841
負債純資産合計	599,459	591,353

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)	当連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)
売上高	382,688	389,705
売上原価	109,644	105,643
売上総利益	273,043	284,062
販売費及び一般管理費	247,366	307,231
営業利益又は営業損失(△)	25,677	△23,168
営業外収益		
受取利息	36	46
為替差益	1,697	—
雑収入	258	8
営業外収益合計	1,993	55
営業外費用		
為替差損	—	313
株式報酬費用	—	2,069
貸倒損失	917	—
営業外費用合計	917	2,383
経常利益又は経常損失(△)	26,753	△25,496
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	26,753	△25,496
法人税、住民税及び事業税	2,825	605
法人税等調整額	△5,095	2,489
法人税等合計	△2,269	3,094
当期純利益又は当期純損失(△)	29,023	△28,591
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)	29,023	△28,591

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)	当連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	29,023	△28,591
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	2,880	△405
その他の包括利益合計	2,880	△405
包括利益	31,903	△28,996
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	31,903	△28,996

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)

(単位: 千円)

	株主資本				その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	270,440	254,130	△18,158	506,411	269	269	506,680
当期変動額							
新株の発行	14,954	14,954		29,908			29,908
親会社株主に帰属する当期純利益			29,023	29,023			29,023
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					2,880	2,880	2,880
当期変動額合計	14,954	14,954	29,023	58,932	2,880	2,880	61,812
当期末残高	285,394	269,084	10,865	565,344	3,149	3,149	568,493

当連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

(単位: 千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	285,394	269,084	10,865	—	565,344	3,149	3,149	568,493
当期変動額								
新株の発行	4,684	4,684			9,368			9,368
親会社株主に帰属する当期純損失 (△)			△28,591		△28,591			△28,591
自己株式の取得				△23	△23			△23
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)						△405	△405	△405
当期変動額合計	4,684	4,684	△28,591	△23	△19,246	△405	△405	△19,651
当期末残高	290,078	273,768	△17,726	△23	546,097	2,744	2,744	548,841

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)	当連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失 (△)	26,753	△25,496
減価償却費	7,947	6,489
敷金償却	733	1,102
株式報酬費用	—	21,388
受取利息	△36	△46
貸倒損失	917	—
為替差損益 (△は益)	△489	△815
売上債権の増減額 (△は増加)	△22,297	△8,874
棚卸資産の増減額 (△は増加)	5,775	33
未払金の増減額 (△は減少)	1,094	20,820
前受収益の増減額 (△は減少)	△24,166	2,291
未払消費税等の増減額 (△は減少)	15,319	△9,243
その他	△4,382	△2,514
小計	7,167	5,136
利息の受取額	36	46
法人税等の支払額	—	△3,747
法人税等の還付額	3,597	—
消費税等の還付額	5,556	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,359	1,435
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,269	△19,047
無形固定資産の取得による支出	△2,338	—
敷金及び保証金の差入による支出	—	△36,870
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,607	△55,918
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	3,606	—
自己株式の取得による支出	—	△23
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,606	△23
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,370	410
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	18,727	△54,095
現金及び現金同等物の期首残高	451,874	470,602
現金及び現金同等物の期末残高	470,602	416,506

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、画像認識ソフトウェア開発事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)	当連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)
1株当たり純資産額	102.53円	98.86円
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)	5.27円	△5.15円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	5.27円	－円

(注) 1. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載していません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)	当連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	29,023	△28,591
普通株主に帰属しない金額(千円)	－	－
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	29,023	△28,591
普通株式の期中平均株式数(株)	5,507,613	5,549,278
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	－	－
普通株式増加数(株)	2,268	－
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	－	－

(重要な後発事象)

(第三者割当増資による新株式の発行)

当社は、2023年6月2日開催の取締役会において、ボッシュ株式会社との間で資本業務提携を行うこと、及び同社を割当先とする第三者割当増資による新株式の発行を行うことについて決議し、2023年7月6日に払込が完了いたしました。

(1)	払込期日	2023年7月6日
(2)	発行新株式数	当社普通株式 293,937株
(3)	発行価額	1株当たり619円
(4)	調達資金の額	181,947,003円
(5)	増加する資本金及び資本準備金の額	増加する資本金の額 90,973,502円 増加する資本準備金の額 90,973,501円
(6)	募集又は割当方法	第三者割当の方法により、ボッシュ株式会社に全株式を割り当てます。
(7)	資金の用途	①事業拡大のための採用費及び人件費 ②開発環境構築のための設備投資